

本 賞



世界最高齢の
現役女子クロスカントリー選手

佐伯克美さん

現在88歳。学校教員を定年退職した後にクロスカントリーをはじめ、片貝公民館主催のクロスカントリースキー教室で長年にわたり講師を勤めています。

現役の選手でもある佐伯さんは、昨年3月の全日本マスターズスキー選手権、85歳代の部で優勝。クラシカル5km、フリー5km、2つの部門で優勝を納めました。

世界最高齢の現役女子クロスカントリー選手としてギネス世界記録を持ち、この秋魚津文部科学省の表彰を受けられました。

- ・世界最高齢の女子クロスカントリースキーヤーとしてギネス世界記録に認定。
- ・全日本マスターズスキー選手権に出場。85～89歳の部で優勝。
- ・2023年3月ワールドマスターズ(オーストリア)出場。85～89歳の部で優勝。
- ・長年にわたり市内クロスカントリースキー教室の講師も務めている。
- ・魚津市生活環境課で開催している「水の学び舎ツアー」(魚津市内の水循環にちなんだスポットを訪れるツアー)の中で、2月にクロスカントリースキーで片貝の山を探索するツアーに講師として参加。(毎年開催)
- ・世界最高齢でのワールドマスターズ優勝者としてギネス世界記録に認定。(2回目)
- ・8月23日(水)魚津市文化協会講演会にて表彰式。
- ・立山カルデラ砂防博物館の体験学習会で解説員を務めています。立山黒部ジオパーク協のジオガイドとして登録。
- ・富山県立山自然保護センター主催のナチュラルリストによる自然観察ツアー(弥陀ヶ原と室堂平)で、解説員として参加。富山県ナチュラルリスト協会に所属。富山県の山岳関係の本も多数執筆です。



特別賞



魚津水族館元館長

稲村 修さん

1980年から魚津水族館に勤務され、1981年から飼育技師、1996年から学芸員、2011年から館長に。作年3月に名誉館長を退職し、4月からは非常勤の水族館アドバイザーに就任されました。1981年の3代目水族館の開館準備、日本最古のアクリルトンネルがある富山港大水槽の管理など水族館の発展に寄与されました。

また、研究者としても北海道大学の環境科学博士号を取得、日本海学推進機構専門員、立山黒部ジオパーク理事など、魚津水族館の正式名称である「魚津水族博物館」としての活動にも力を注がれました。

開館から110年を迎えた魚津水族館の発展に寄与されました。



特別賞



朝日小屋の管理人

清水 ゆかり さん

標高2,150mの朝日平に位置する「朝日小屋」は、北又、白馬岳、蓮華温泉など、どのルートからも8時間ほどかかる奥深い場所にあります。

その朝日小屋の管理人を28年務めた父下澤三郎さんに変わり2001に朝日小屋の管理人（女将）を引継ぎされました。

以後22年間、全国からやって来る登山者に対し家族のようなおもてなしを行い、富山の食材をふんだんに使用した夕食を提供するなど、ご飯のおいしい山小屋との評判を呼び、毎年賑わいをみせておられます。



地域社会賞

宇奈月温泉開湯100周年実行委員会

2022年にイベント、2023年4月～24年3月に100周年事業を実施し、今年、黒部ダムと樺平を結ぶ「黒部宇奈月キャニオンルート」の一般開放にも尽力しています。

6月18日には開湯100周年記念式典が黒部市芸術創造センターセレネで行われ、約250人が節目を祝いました。

「自然と共生し、人とつながり、心のぬくもりの泉となる宇奈月温泉を受け継ぐため、自ら考え、共に活動する」と、うなづき宣言をし、「さっ行くぞ。」のキャッチフレーズを掲げました。年度末までに新たな魅力創造などアクションプランを立案、提言します。

7月 さだまさし&澤和樹（東京藝大前学長）のナルホドなっとくうなづきライブ

9月 モーツァルト音楽祭

10月 最後の秘境からやって来た若き音楽家たちなど



奨励賞



富山GRNサンダーバーズ

松原 快さん

2023プロ野球ドラフト会議阪神タイガース育成1位指名

1999年8月24日／富山県黒部市宇奈月町浦山出身・24歳

180cm・82kg／右・右

宇奈月中学校→高朋高校→ロキテクノ→富山GRNサンダーバーズ

球種…最速156キロ・2種類のスライダー、シンカー

サンダーバーズ在籍県内出身、旧宇奈月町出身初のプロ野球選手

156キロ・スリークオーター右腕の松原は高校、社会人では芽が出なかったが、独立リーグで大きく成長した。「高校では控え選手、社会人では6、7番手投手だったが、そんな選手でもここまで来れることを知って欲しい」と話す。会見場には母の雅美さんも呼んで、一緒に指名の瞬間を喜び合った。昨季は指名漏れし、今季はラストイヤーと位置づけてプレー。「この1年間、ドラフトの日を常に意識して生活してきた。今日で野球人生が終わるかもしれないが、母に立ち会ってもらって良かったです」と笑顔を浮かべた。（スポーツ報知より）



写真提供：富山GRNサンダーバーズ

青少年育成賞

おはなしを楽しむ会

平成13年に設立し、22年にわたり子ども達への絵本の読み聞かせ等のボランティア活動を行っています。

毎週土曜日に図書館で子ども達を対象とした絵本の読み聞かせ会を開催しており、その他小学校や福祉施設等でも読み聞かせを行っています。読み聞かせを通して読書の楽しさや面白さを伝えるとともに、子ども達の想像力の育成や読書習慣の確立に努めている。

また、市内小中学校で「戦争と平和についてのおはなし会」と題して戦争体験記や原爆詩の朗読を行っており、戦争や原爆の悲惨さを伝えることを通して子ども達に命の大切さや平和の尊さを理解してもらおうと尽力しています。これらの活動による地域の情操教育や平和教育への貢献は大きいものです。

〈受賞歴〉

- ・平成27年魚津市表彰（教育功労）
- ・平成30年度 子育て支援とやま賞（地域における子育て支援活動部門）



青少年育成賞



朝日中学校吹奏楽部外部指導者

大谷多賀子さん

朝日中学校吹奏楽部外部指導者として、21年間吹奏楽部の指導にあたり、中部日本 個人・重奏コンテスト打楽器三重奏金賞に導き、文化活動における青少年育成、発展、向上など教育振興に貢献されました。また国における学校活動の地域移行に推進に向け朝日町において県内では、先行して文化部の地域移行の取り組みを行っている朝日町型部活動コミュニティクラブの地域指導者として、意欲的に質の高い指導力で、生徒へのスキル向上や地域での整備及び充実に御尽力をされています。

令和4年度 朝日町町政功労表彰（教育文化功労部門）受賞



新人賞



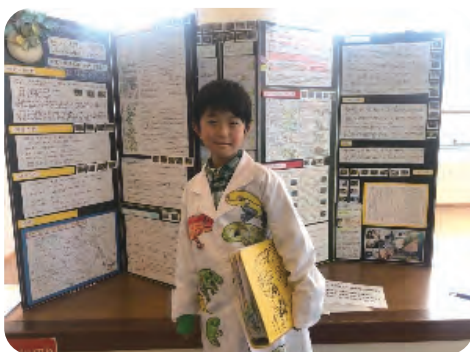
カエルの研究

中西 瑠焯斗 さん

6年間にわたってカエル研究を続けています。

魚津水族館「うおすいサポーター」の一員としても自然調査に取り組み、図鑑に記載のないカエルの特徴を発見するなど豊富な知識と研究実績から「かえるクン」と親しまれています。

「里山の自然を生かした水族館の学芸員になる」との夢に向かって、今年も観察の日々を送っています。冬休み、春休み、夏休みには水族館田んぼの生物多様性コーナーで来館者に「アズマヒキガエル」「ナガレヒキガエルの生態を解説。亚克力板に絵を描きながら、「ジャンプが苦手です歩いて移動します」「赤い斑点模様のある個体があります」などと、体や動き方の特徴、繁殖時期、生息地などを分かりやすく説明。来館者の質問にも答えました。



新人賞

入善町立入善中学校 駅伝部

令和5年9月30日に行われた北日本新聞金鷲旗争奪富山県中学校駅伝競走大会、男子（第40回大会）の部において、入善中学校駅伝部が、初優勝を果たしました。前年大会で3位に入賞し、今大会では優勝を目標に挑んだ。序盤から先頭集団につけ、3区で先頭に立つとそのまま最終6区まで後続の追従を許さず、ゴールテープを切りました。

入善中学校駅伝部は、普段は陸上競技部に所属している生徒を中心に野球部の生徒が加わる特設の部活動である。夏休み前に結成され、地元入善町の運動公園陸上競技場を主な練習場として、毎朝練習に取り組んでいた。ランニングブームもあり、地域住民が多く利用する町運動公園での練習中には、地域の方々から多くの励ましを受けたり、一緒にトレーニングに参加される方々も見られた。入善中学校や地域住民等の支援や応援を土台にしながら地域が一体となったの応援が、選手たちの終盤の粘りを支えていた。地域の期待に応え走り続ける入善中学校駅伝部の今年度の活躍は、地域に勇気と元気を与え、大きな励みとなりました。今後益々の活躍に期待したいです。



新人賞



アーチェリー選手

道添彩芽さん

令和5年9月22日(金)～9月24日(日)に夢の島公園アーチェリー場(東京都)で開催された「第61回全日本学生アーチェリー個人選手権大会」に出場、リカーブ部門女子で優勝した。

<第61回全日本学生アーチェリー個人選手権大会>

開催日：令和5年9月22日(金)～9月24日(日)

開催地：夢の島公園アーチェリー場(東京都)

出場者：108名(リカーブ部門女子)

結果：リカーブ部門女子 優勝

【経歴】

明峰中学校 → 桜井高校 → 近畿大学1年生

道添選手の活躍は、富山県のアーチェリー競技界の振興に貢献し、本人の今後の活躍も期待されています。

